

特定非営利活動法人
日本健康事業促進協会

— Japan Health Project Promotion Society —

会報：Vol.14- No.2 / 2018年4月号

当協会に対する各種お問い合わせ・ご要望等がございましたら
e-mail: info@jhpps.org まで、ご連絡ください。

— 協会所在地 —

東京都中央区佃 1-11-6

www.jhpps.org

私ども NPO 法人 日本健康事業促進協会は、「人の健康は病気の予防に始まり、地球の健康は環境の保全による」を基本理念としています。

総合的な健康の維持・増進・回復をテーマにしたセミナーやフォーラムの開催、スポーツを通じた青少年の健全育成のバックアップ、地域の市民活動団体とのネットワーク作りを行います。

また健康関連素材の医学的研究のバックアップも行います。

これらの活動を通して「人」個々の健康促進をサポートし、充実した人生を送ることのできる生活環境を作り上げることに寄与したいと考えています。

是非、皆様の御協力、御支援を賜りますよう、お願い致します。

【事業内容】

- 健康・予防医学に関する新技術の基礎データ・臨床データ取得の受託事業
- 健康・予防医学と健康維持・環境保全に関する、講演会・フォーラム・セミナー・イベント等の開催事業及び素材・製品・機器・技術の調査・研究事業とその成果の認定及び紹介・提供事業並びに素材・製品・機器・技術の認定事業及び紹介・提供事業
- メンタルトレーニングシステム構築とメンタルトレーニングを基

にした青少年・社会人に対する各種スポーツ指導を通じた青少年の健全育成事業

- 健康・予防医学・健康維持・環境保全とメンタルトレーニングシステム構築の各事業に関する国内外の情報収集活動事業及び団体・個人への研究会・勉強会を中心とした協賛・提携・参加等に基づく情報交換事業と人材交流事業
- 出版物の発行等による普及啓蒙事業
- その他、協会の目的を達成する為に必要な事業

【会 員】協会の目的に賛同して入会する個人・団体（団体のみ、入会金・年会費を頂きます）

・団体 入会金：100,000円 年会費：100,000円

【機関誌】年4回発行（ホームページにUP / 講演会会場などでは印刷物配布）：当協会推奨品に関わる研究推移状況・学会発表内容・新製品案内や、関連フォーラム・コンサートのご案内、健康コラムを掲載

【その他】

- *会員の方が、当協会機関誌・ホームページで紹介する指定企業の指定製品をご購入される場合、10～20%の割引を受けられます。
- *フォーラム、セミナーのご案内を優先してご案内します。
- *各種講演会、各種講座、フォーラム、セミナーを会員価格でご参加頂けます。

当協会が特別協力を務める「未病 EXPO2018」が今年 8 月 24 日(金)～26 日(日)に行われます。その中で、当協会が長年研究している「PROUSION」についてのブースも出展予定です。

そこで今回は、過去に定例セミナーで「PROUSION」についてお話しした内容を掲載します。セミナーの書き起こしですので、口語体になっています。ご了承ください。

「血流改善～2015 年学会発表から～」

今日は、改めてプラウシオンのお話をさせていただきます。

「プラウシオンの製品を使うと血液循環がよくなります」という発表をしてきましたのでその内容をご紹介します。実はこれとても大変なこととして、学会発表をしたから、堂々と「血流変わるよ」と言えるんです。

学会発表しないで「血流変わるよ」と言うと、その瞬間に薬事法違反です。

薬事法に関してシンプルに言うとですね、あ、ちょうど良いものをお飲みの方がいらっしゃるので失礼します。

これ、売れてますね。「ヘルシア」です。

これを飲むと何が起きるんでしょう？ 脂肪を消費しやすくする？ 「美味しいものは脂肪と糖でできている」というのはコマーシャルの通りなのですが、これね、コマーシャルではヘルシアでメラメラと燃えてますけど、あれ、無いです。

申し訳ないんですけど、これで脂肪は燃えません。これに入っているカテキンは脂肪を燃やします。これは論文が出ています。

ヘルシアで痩せるのか、脂肪が燃えるのかと言ったら、これはデータがありません。ありませんし、実際 NHK が『NHK がためしてガッテン』で調べたら何も効果が無かった。

ですから、本来ヘルシアは脂肪が燃えるとは言ってはいけないのです。言った段階で薬事法違反。ただ、特定保健用食品というのは「効果がある原材料が入っていたら、ひょっとしたらその効果があるかもしれないよ」という事を言ってもいいかもしれないよ」という訳がわからない代物です。効果があるかないかはわからない。という事は裏を

返すと、身体に変な影響は無いよね、変な影響がないという事は、コンビニでも売れる訳です。影響力を持つんだったら、薬局でしか売れないんです。薬剤師さんがいなかったら売れないんです。この違いがあります。

プラウシオンも過去何例か、活性酸素のことであるとか、筋衛星細胞の遺伝子に作用するという学会発表はしてきていたのですが、製品での発表はしてなかったんです。

なので、敢えて今回、本当にドキドキだったのですが、プラウシオンを配合したクリームで変化が起きるかどうかということを正式に発表しました。

そして実際にご覧になって頂きますけども、間違いなく効果が出たという事で、印籠を貰った訳です。「控えおろう、プラウシオンは血流改善するんだぜい」って、これが大きな話です。

2004 年から代替医療物質を研究してきているのですが、先ず「病気の原因」。シンプルに何でしょう？ なぜ病気になるのか？

殆どは生活習慣です。生活習慣で過剰な活性酸素を作ってしまう。ストレスもそうです。電磁波もそうです。食生活や、環境要因ですね。

様々な要因で体内に活性酸素が発生してしまう。これが病気の原因の 9 割だと言われています。身体を錆びさせる、酸化させる、糖化させる代物です。

もう一つは自律神経のエラー。交感神経と副交感神経のバランスを崩す生活習慣、これも同じですね。ストレスから来るものがとっても多いです。

更にもう一つ、これが今日のテーマになるので

すが「末梢血流が不足している」。

毛細血管ですね。そこにどれくらい血液がまっとうに流れているのかというのが、とても大きい健康に対するファクターです。

後ほど改めてあの顕微鏡をご覧になっていただきたいと思うのですが、基本的にあの顕微鏡の画像の枠に、9本毛細血管が見えるのが正常だと思ってください。それが6本程度、平均から3本少なくなると間違いなく冷え性です。

冷え性は単に「冷えるから心配だよ」の話じゃないのです。栄養が身体中に回っていないということなのです。

指先で毛細血管が足りない状態が見えたとするのなら、それは脳の中の毛細血管も足りないんだという風に理解してください。

ですから、指先など毛細血管が足りない。末梢が冷えますよね。では脳が冷えたらどうなりますか？ シンプルに認知症にそのまま一直線です。そこに活性酸素が絡んでくるとアルツハイマー。そこに以前のセミナーで取り上げましたように、サラダ油を摂りすぎると完璧に細胞が死んでいきます。

ファストフードを食べることで活性酸素が沢山出てきます。栄養のバランスが崩れますから末梢血流が悪くなる。血糖値が上がりすぎますので自律神経がエラーを起こす。というのがファストフードです。

それから、半チャンラーメンに餃子つけるとかね。そういったものが「病気の原因」につながってきます。

これは確認しておいてください。活性酸素が身体に与える影響というのはどれくらいあるのか？

脳神経に作用すればパーキンソン病、アルツハイマー。目にくれば白内障。消化器から腎臓から様々なものに影響します。意外と気がついてないのが、皮膚の変性シミ・シワというところなのですが。

ついでの話をしてしまうと、今日は女性陣が多いのでお話しさせていただきますが、お宅に帰られましたら、各自、お使いの化粧品を確認してみてください。

その中の項目に「美白効果」というのがあって、内容成分見たら「酸化チタン」が入っていたとしたら、これは顔面中に活性酸素をだらけにする成分だという代物です。顔に塗ったら白くなって「あーうれしいわ」と言って、何年か経つとシミしわだらけです。顔の細胞自体も死んじゃいます。

理由は簡単なんですけどね。光を乱反射させて色を白く見せる代物です。白絵の具の原材料にも酸化チタンが使われています。

ですから、美白効果を謳って酸化チタンが入ってる化粧品は、白い絵の具を顔に塗ってるんだと思ってください。

実はそういう怖い原因になるんです。

次に自律神経がエラーを起こすと何が起こるかというところが様々あります。

鬱の症状、パニック障害、頭痛、めまいなど。

お医者さんに行った時に、「先生私こういった症状があるんです。最近ちょっと心臓がドキドキして心不全かもしれない。心筋梗塞かもしれないので調べてください。」といって血液検査をすると、心不全などは一発で数値が出ます。しかし、数値が正常値でその心配は無いのです。無いのですけども、症状だけが出ている。となるとお医者さんは何を言うのでしょうか？

症状はあっても、データが無い。だいたい言われるのが「自律神経失調症」ってやつね。たいがいそれで収まる。

皮膚炎で、原因が解らないものはだいたい「アトピー」と言われます。アトピーは「わけの解らない」という意味ですから。

困るのは、症状は出ているんだけど、どうやって治していいかがわからないのが自律神経失調症の様々な症状です。

シンプルに有りませんか？ 強迫神経症とか発汗異常とか動悸息切れとかありますけど、緊張したらなるでしょう？ それが酷いやつね。

そうなったときにお医者さんは「自律神経失調症」という名前を付けないとお薬を処方できない。単純な話ね。

血流エラーで何が起きるのでしょうか？

昔から何回も聞いていただいている方は、かなり勉強されていると思います。

健康体温としていますが、基本的には 36.2 度から 36.7 度これが正常な体温だと言われています。この健康体温と言われている部分では、新陳代謝も活発ですから免疫力も高い。たいがい病気にはかかりません。何故たいがい病気にかからないかといいますと、38 度になると、皆さんの身体の中で、リンパ球が大量に作られます。普段食べている酵素から作られます。

この 38 度を起点にしてリンパ球が風邪菌をやっつけにいく。それがブルっとしたあの瞬間だと思ってください。38 度にならないと、酵素はリンパ球に変わってくれないんです。

ここがミソです。

36.5 度の人 1.5 度体温が上がってくれば、リンパ球が出てくれますから、風邪菌をやっつけに行ってくれますよね？

問題なのは、35 度代の「冷え性」と呼ばれる人達です。

35.5℃の人がいたとします。この人が風邪を引きました。1.5 度体温が上がったらいいのかと思いきや、それ 37 度にしかありませんからリンパ球が作られない。

冷え性の人であっても、38 度にならないとリンパ球を作ってもらえない。つまりこの人は 2.5 度体温を上げないといけない。

ですから、冷え性の人は大変ですよ、風邪引いたら身体クタクタになっちゃうといのは、2.5 度上げないといけないですから、これは身体が耐え

られない。で、逆に 38 度まで体温が上がらないのです。

体温が上がってくれないので免疫力が 50 パーセント低いんだよという話なのです。

それがさっきちょっと言ったように、顕微鏡画面の 1 mm の間に 9 本血管があったらだいたい「健康体温」なのです。6 本だと間違いなく「低体温」になります。

ただ、先に申し上げますけど、毛細血管が無くなっている訳ではないのね。これは間違えないでください。赤血球が入らない毛細血管があるということなのです。サイズも色々ですからね、これやるとまた 1 時間掛っちゃうので省略しますけど。赤血球が入っていかない毛細血管は、イメージとして製品が流れてこないベルトコンベアの前で立っているアルバイトの人達。流れてこないということはそのうちベルトコンベアも止まります。止まると、そこのアルバイトどうします？ 大体クビです。

この状態は「血管はあるけども、赤血球が流れてこない」という状態なので、血管は干からびちゃう。赤血球が流れてこないで画面に写らない。画面に映っているのは赤血球が運ばれている毛細血管なのです。こういう違いです。

ですから「毛細血管があるんだけども、血液が流れていない人」が「冷え性」。

ということは、全うに運動して、ブラウションもそうなんですけど、赤血球が元気に流れるようになると、赤血球が又ベルトコンベアにのるようになります。そうすると有給休暇を取り消してみんな働きに来ます。そうしたら、そこのラインは再び動き出すというのが本来の健康に戻していくということなのです。

人が死を迎えた時の体温は 27 度です。ということは、冷え性の人はいくら死にやすいということ。目の前にお鈴がある。そのくらい血液というのは 36.5 度から 27 度というたったこれだけの差のなかで揺れているものなのです。ちよっ

と冷えただけで免疫力が落ちると言うことは、血液しか酸素や栄養素を回してくれるものが無いということなのです。

因みに、もう一つ血液の話をしますと、年をとると動脈硬化になります。これは仕方ないです。血管自体が老化してくる、脳に血液を回さないといけないのだけれども、血管が堅いので血圧を高めて血液を脳へ回さないといけない。

ですからある程度お年を召した方が、血圧が高いと言われて降圧剤を飲むと認知症になる率がとても高くなります。というのは、脳に血液が回らなくなるためです。ですからよく言われるように「年齢+90」というのが血圧の上限値です。

でも、ある程度血圧が低い方が身体全体のバランスも良いわけです。心臓への負担などを考えた場合とかね。

じゃあどうすればよいのかというと、血管が柔らかければ良いわけです。では、どうするか？

うちの会報を覚えていらっしゃるでしょうか？
1日8,000歩、20分の筋肉運動をすると認知症にも鬱にもガンにもなりませんよ。という学会論文の抜粋を出しましたが、普段の生活習慣を変えていくと、血管は若返ります。理由は、例えばですよ、どうしても気になるのなら1回20分の自転車こぎ運動、フィットネスクラブなんかにありますから、1日20分のあの自転車こぎを週に2回やってください。1ヶ月やると血管でいたい10歳若返ります。

理由は血管壁からNO（一酸化窒素）が排出される。そうすると血管はやわらかくなる。内皮細胞と言うのですけどね。そういう運動さえもしていない人が、どんどんどんどん血管が堅くなり、ぱったり逝っちゃう。

血圧は高くなる、血液もなかなか流れてくれなくなるわけですから体温が低くなる。

脳に血液を回すために血圧を高くしているのに、降圧剤を飲むと脳に血液が回ってくれませんか、脳に酸素栄養素が足りなくなって脳細胞が死んで

いきますよね、認知症になりますよね、という話です。

血液をいかに身体の隅々までまわしてあげるのが、一番大切なことなのです。もっと言うと、血液が全うに流れていてくれてさえいれば、自律神経失調症だって治っちゃうんですから。実にシンプルな事が、血流というものにあるのです。

もっと言うと、ちょっとした病気にしてもなんでも血液検査しただけでどんな病気が殆どわかるというのは、血液にそれだけ情報が入っているという事ですから、普段の血流をいかに整えるかということが、健康の一番基本。

生活習慣病ですよ。生活習慣直すしか治す方法がない。

だから出された薬を飲んで血圧が下がったというのは、症状を押さえ込んでいるだけなのです。結局は身体に対する負担は大きいのです。その薬を飲めば飲むほど、身体に活性酸素が大量に増える訳ですから悪循環です。

血流が悪いと何が起きる？ 脳力です。脳の働きが絶対的に落ちます。

ふと思ったら、生活習慣病の枠にあるものは皆羅列されています。全部血流不足です。

（画面のデータに）メンタル不全と簡単に書きました。鬱もメンタル不全の一種ではあるのですが、昨今一番困るメンタル不全は、何やってるかわからないという状態の事です。この間も車で人をひっかけてそのまま引きずって殺してしまった、というような事件がありましたが、あれは引きずっていると言うことを認識した上でやっています。あれは精神異常ではないのです。メンタル不全、自分がやった事に対する反応がどんどん遅れているのです。これがめちゃくちゃ多いのです。

あれもそうです。この間アメリカであった、教会で人を殺しちゃった事件。

犯罪以前に脳の異常、メンタルの異常を持った人が犯罪を犯すパターンが非常に多いです。年齢

層を調べると 10 代から 20 代全般の人が犯す犯罪が非常に多い。その人たちのデータを見ていくと、大概が低体温です。脳に血液が回っていないのです。ということは、脳自体も作られていないと云うことです。思いこんだらそれしか頭に入っていないのが、身近な事件として上がってくるので、そういう意味では犯罪を刑法だけで裁けるものだろうか？

シンプルに血流が悪いと言うだけで、これだけのものが起きているのです。これを何とかしないとイケないのです。

血流が良くなると、いわゆる病気の予防になります。

最近いろんな所で「未病」というフレーズが随分使われています。それを聞くとこれからは未病の時代だとか言っていますが、未病というのは「予防」ではないということに気がついて欲しいのです。

未病というのは「未だ病ならず」。

つまり既に病気なのですが、病院に行っていないので病名がついていない。だから未病だということだけのこと。

予防というのは未病になる以前のものです、概念が全く違う。惜しむらくは病気にならないと、予防しようとは思わないことです。そう思ったときはもう遅いのです。保険と同じですよ。

普段の自分が、今日みなさん集まってくれてますけど、これは皆さんが健康だから出来ることなのです。

こういう状態が維持できることを、自分の身体に教え込んでいくことが「予防」です。予防ができれば、当然「エイジングケア」になります。

アンチエイジングというフレーズがありますが、アンチは抵抗の「抗」ですから「抗っている」訳です。年齢にともなう様々な事に「抗い」ですからこれは意味がないのです。その人にとっての、その年代最適な体力、精神力を維持できるかどうかエイジングケアです。殆どの方が、ここから老化の

世界に脚を踏み入れてしまっているわけです。

お腹が六つに分かれていることを、シックスパックって言うでしょう？ あれ、皆割れてるからね。筋肉の上で脂肪がコーティングしているから、割れているように見えない。お腹が6つに割れて見える人というのは「痩せてる」という話ですからね。間違えないでください。あれは脂肪がないだけだということ。脂肪がない人は免疫力が低い。

これもある意味アンチエイジングとエイジングケアの概念が理解できていないということにつながるのです。

最終的には、健康寿命の延伸には、血流改善しかありません。健康寿命とは、おむつしないで普通に生きられるか。

寿命というものがあって、ベッドに縛られつつ過ごしているのならば、これはただただ延命というのか植物人間というのかということになっちゃう訳です。健康寿命をいかに伸ばすかがとても重要になってきます。

血流を良くするということは大難を小難に、小難を無難にする。肺炎になるのならばそれを風邪に治める、風邪になるのなら咳き一つで終わらせると言うことです。見過ごすから大きい事になっていって、気がついたらリカバリーできない状態で大騒ぎすることになる。

皆さんガンになりたくなかったら、何をしたら良いかご存知ですか？ 一番良いのは「年に一回大風邪をひく」ことです。40度を越える高熱を出す。ガン細胞は39.3度で皆死にます。それが温熱療法です。たまには熱だして寝込むことがあったらしたら、それは神様が「ちょっと休んで身体の中をクリーニングしろよ」という指令だと思ってお休みください。そこで仕事しちゃいけません。

それが実は、お風呂に入ることと同じなのです。お風呂に入って一日一回体温を上げる

でしょう？ 血流を絶対的に良くしているわけ
です。

別の言い方をすると、アメリカ人ってまずバス
タブに入らない。シャワーだけ。

先日私が仕事でヨーロッパに行った時も、ひた
すらシャワーでした。特にポーランドではシャワー
しかなかったです。彼らは何故シャワーで平気な
のでしょうか？

特にアメリカ人とか、おかしくない？ 冬でも短
パンはいてるし、短パン+Tシャツの連中。

彼らは体格が大きくて筋肉が多い。筋肉が多い
と言うことは発熱量が高いということなのです。
だからシャワーでなんとかなっちゃう。

日本人は無理です。日本人は欧米人に比べて筋
肉量が少ないから。

だからお風呂に入って一日一回体温を上げる習
慣があって、血液を流す仕組みが生活習慣の中
にあるんですから、これを鳥の行水のようなこと
であるとか、めんどくさいからシャワーで終わら
せるとするのはそれだけでも、冷え体質一直線。

小難を大難に変えているのがシャワーだと思っ
て頂ければ間違いありません。

実は私たち普段の生活習慣の中で、予防できる
ことをかなりしているのですが、今の世の中あま
りにもストレスが強い。ですから、「血流をよくする」
にはどうしたら良いのかが、です。

2015年の5月に行われた共同国際会議では3
つの学術総会が共同開催されました。

今日は脳波測定器を持ってきてくださってる
フューテックエレクトロニクス社の渡辺さんがで
すね、脳波の研究で長崎大学の亀井先生ともお付
き合いがあった訳です。亀井先生が開発している
ものがありまして、その製造の目処がたったとい
うことで、この間とても喜んでいたんですけど、
認知症、不眠症、うつを改善するヘッドギア。こ
れの論文を出すということでした。そのヘッドギ
アを被るだけで、認知症は改善され、不眠症も治る。

うつはかなりの確率で治る。

そういった物の研究開発をずっとされているも
のですから、脳の関連、脳波の関連で知り合いま
して、私がもともとメンタルトレーニングで脳波
測定をしていたものですから、その関連で紹介し
ていただいて、せっかくだからその学会で発表し
ようかという運びになりました。

最初の時点では発表のスライドが90枚くらい
あったのですが、発表と質疑応答があってトータ
ルで一人12分位。質疑応答がありますから、実
際の発表は7~8分で終わらないといけない。
90枚あると3時間かかっちゃう。

そこから始まりデータを全て精査して、発表の
30分前までずーっとPCいじってデータ整理し
てました。

ブラウシオンというのは造語です。もう20年
くらい研究しています。

これまでに2002年にフリーラジカルの中でも
特に毒性の高いものを除去するという発表を、上
海で開催された中日薬理学会でさせていただきました。
復旦大学の客員研究員だったものですから、
その時の教授が発表してくださいました。

2008年には日大の次世代工学技術研究セン
ターで「MyoD mRNA に対する作用」を発表し
ています。

Myoというのは筋肉、筋繊維のことです。

mRNAといのはメッセンジャーRNAですから、
シンプルに言うんですけどね、「筋肉に作用する遺伝子
にブラウシオンは効果があると言う事が証明され
ました」という事です。

筋肉は太いものというイメージがありますが、
筋繊維といひますでしょう？ 繊維の寄り集まった
ものです。その大元は細胞です。点だと思ってく
ださい。

その筋肉を作るための、大元の細胞を作る遺伝
子をブラウシオンが元気にしたよという研究結果
です。

ですから、骨折した時にブラウシオンのシートを巻き付けると通常4週間かかるのが3週間できつくとか、傷が早くくつくとか、捻挫が黒くなる前におさまってしまうとかはこの作用です。

日大との話で出たのは、筋ジストロフィーを治す為、維持する為の薬剤としてこれが使えないかなという話までは出ました。研究費の問題で頓挫してありますが、このように身体の大元である遺伝子まで作用することがわかっています。

ただ、これも先程申し上げたように、ブラウシオンの原材料としてのデータなのです。ですから、実験でネズミに対して使ったのはブラウシオンの原材料であって、それを混ぜた何かでどういう結果がでるかという事についてはまだやってなかった。

配合品を使用しての治験は蓄積してます。自分たちで随分データを持っています。例えば、ネックレスであるとかプレスレットを使って血流がどのように変化するかであるとか、ぶっちゃけて言っちゃうと、どんな病気が治っちゃったであるとかのデータはあるんですけど、学会発表まではやってこなかった。

例えば、ナノレベル（PM2.5の100分の1レベルくらいまでいい作したもの）まで粉碎したブラウシオンを含浸させた布を、片方の腕に掛けて、反対側の腕で顕微鏡で覗いています。或いはサーモグラフで撮影しています。着けて5、10、15分経ったものを、このようにずーっと追っていった。

2008年に「メディカルクリエーションふくしま」というEXPOで、現場でサーモグラフを使って測定した結果、きちんとデータが取れました。

福島の11月20日だから寒いです。そこへ来たお客さんで結果が取れちゃったものですから、逆に我々が吃驚しちゃいまして「なんで取れちゃうんだろう?」。でも、取れるんですよ、間違いなく。

こういったデータを私はずっと蓄積していたので、今回のような話に繋がっていったんですね。

ブラウシオン配合品の使用者の感想からも、「肩

凝りが楽になった」「体が温かくなった」「風邪を引かなくなった」など、末梢血流改善に関わる体感がとても多かった。

しかし配合品と非配合品との比較検査が行われなかった。そこで、あえてこのデータを配合品と非配合品のクリームを使って測定した訳です。

顔に塗って、敢えて離れた手先の血流の変化を確認した。ちょっとしたマッサージであっても血流って変わってしまいますでしょう?

ちょっと話変わりますが、お年寄りがなくなるのは冬の朝と相場が決まっている。理由は簡単です。寝ている間には、どんな冬場でも我々は汗をかいています。コップ2、3杯分の汗をかいています。

ですから朝起きる時は、その時点で血液ドロドロなのです。水分が足りてません。

起きようと思ったときに、交感神経にスイッチが入りますからアドレナリンが出て、また血液はドロドロになります。

起きあがって冷たい床に脚をポンと置いた瞬間に、また交感神経が刺激され、またアドレナリンが出て血液がドロドロになります。

そこで一気に血栓が飛んでお亡くなりになるというのがパターンです。

ですから昔からあったように、枕元に水差しを置いておくというのはとても良い習慣です。

また、起きて冷たい床に脚を置いて、キッチンまで無事にたどり着いたら、コップ一杯の水を飲みましょう。コップ一杯の水を飲めば30秒で血液に流れ込みます。顕微鏡で見るとすぐわかる。

ただ、持続はしませんが、血栓を防ぐにはまずコップ一杯の水、白湯でも良い。生活習慣病を予防する、一番手っ取り早い方法です。

そういう事もあるので、ここでは敢えて指先で血流を計りました。

野口医学研究所の倫理審査員をしているので、そこでデータ取りをしました。データ解析は外注

をしています。勿論不正が出来ないようにするためです。

末梢血流測定の結果として、プラウシオンを使っているクリームと使っていないクリームで、最大流速と平均流速の変化を見ます。

1秒間にどれくらいの距離流れてくれるのか、血流ですからシンプルに言うと、赤血球や白血球がどれくらい流れるかという変化を取りました。

塗って5分後、6例全て上昇です。

15分経っても上昇したまま。解らないのが、15分以上経つと下がるんですよ。

初期値よりも下降が1例出てきました。平均流速も、初期値よりも多少緩やかになりました。これはプラウシオンを含浸させた布でも全く同じデータなんですね。

ただ測定前2時間以上水分、飲食一切禁止してもらってますので、脱水が起きている可能性もある。

最大流速はプラウシオン有りの変化と無しの変化を比べると、無しの変化は平均値の中に収まっていることがとても多い。

プラウシオン有りの方は、最大流速が20%アップしている。高域に変化している。

プラウシオンが入っていない方は変化していませんですね。

出だしを1.0としていますけど、6例、5例を足して人数で割ったところの数値を1と捉えた時に、全部の平均値を追っかけていたらこのようなデータがきちんとれた。

先程のデータのように何例もあるとちょっと分かりにくいんですけど、全ての細かい数値に統計分析かけると、こういった結果が見られた。

シンプルに言って、「このクリームを使う事で、血流は変化します」とはっきりと言えることを、解析した先生に言って良いよとされているのです。

ところでサーモグラフの見分け方で、きちんと

見なくてはいけないのは背景の色。そこが比較写真と同じでないといくらでも嘘がつける。いろんなところでベースとなる色の違いが見られたら嘘を言っていると思ってください。

今度は布の方ですね。布についても同じようなパターンで計測しました。15例。

精製水に重量比0.1%プラウシオンを攪拌してそこに布を浸します。

測定はクリームと同様に顕微鏡とサーモグラフカメラを使い、右前腕に布を被せ、顕微鏡は左薬指、サーモグラフカメラは両手甲に変化が見えるかを考察しました。

プラウシオンが入っている方は高域で変化する。入っていない方が変化しない。サーモ画像で見ても変化を確認できる。

まとめるとですね、クリームでは最大流速、平均流速共に確認がされた。布では、最大流速、平均流速ではっきりと傾向が確認されたと。プラウシオン製品では、血流が改善するということがはっきりとわかりました。

どうやら今の200ナノのプラウシオンでは、0.2%くらいの方が体には直接的に作用するのかなという事です。

面白かったのは、これは教授に言われた事なのですが、15分後ということだけではなくてですね、血流を持続的に改善させる作用が見られるという見解です。

要は塗った時だけ変化するのではなくて、例えば布もそうなんですけど、これは日大でも言われた事なのですが、15分くらい布に触れていると、血流改善の効果が2時間くらい続くと言われていました。遠赤外線グッズのように強制的にその場で流すのではなくて、血液の質、赤血球のレベルを変えてしまうのものですから、体全体に影響する作用が維持できるのではなかろうかという事です。

単純に血流が改善されるという訳ではないんだよというところですよ。特にクリーム系については皮膚の下に滞留します。新陳代謝で押し出される

まで、ずっと滞留していますので、この反応も強いのかなと言う事です。

学会発表の結果、「活性酸素を除去」「筋・組織の再生を促進」「全身の血流を改善」する3つの作用が PROUSION ではっきりと表明・標榜することができます。薬事法に一切関わらないので、ここから最初の話なのですが、某大学病院の助教授が、クリームを研究して学位論文を出して博士号を取りたいので、ちょっと手伝ってくれという話がきたのですが、そこから発展してですね、例えば補完代替医療と言うのですけども、お薬ではないのですけども、いわゆる西洋医学などの薬ではないのだけど、体に確実に作用するものとして、使えるんじゃないかな？ つまりはですね、自由診療です。保険適用外の診療項目として、この PROUSION を応用させたら、もっと体に効果があるものが作れるのではないかな？ という話を頂いております。

ついでの話なのですが、キレート療法って皆さん聞いたことありますよね？ にんにく注射とか、ビタミンCを注射するとかそうすると、エイジングケア、アンチエイジングできますよとやっているお医者さんが増えています。理由はある種うがった見方に近くなりますが、通常の診療、保険項目に則った診療だと、お医者さんは食べていけないんですね。利益率どれくらいだと思います？ 治療して、例えば1万円したとします。そのうち自分は何割か負担すれば良いわけですけど、粗利益率です。なんかすごく儲かっていると思うでしょ？ お医者さんって。なんとたったの20%。結果粗利益率が20%しかないんですって。そこら辺のパン屋さんの方がよっぽど粗利益率高い。コーヒーなんて原価30円ですからね。

そう考えると、僕の友人が群馬でクリニックをやっているんですけど、そこがですね、クレジットカード決済できないんだそうです。最近決済しているでしょ？ 大きい病院てね。大きい病院は体

面上やるからしから仕方ないんだけど、クリニックはクレジットカード決済をやる事ができないのです。理由は簡単、クレジットカードは5%持っていかれてしまうから。そうしたら、病院の経営が成り立たないので、クレジットカード決済ができないんだよという世界なんですね。

そうしてくると、自由診療等を入れて保険適用外の所で、利益を取らないといけない。となった時、お医者さんは国に認められている仕事ですから、医者が「これって体に効くんだよ」って言ったら体に効く。お医者さんが体に効くんだよって言ったら1万円でも売れる。

昨今健康食品を扱うお医者さんクリニックが多くなりましたよね？ あれは、お医者さんが、この健食は、滋養強壮等を含め療養に役に立つものだと判断したら売って良いんです。これは、お医者さんは基本的に非営利でなければいけないといわれていますけど、営利に当たらない。そりゃ関係なしに何でもかんでも売って良いという訳ではないですよ。自販機で売っていたらダメなんです。

例えば病院に行ってヘルシアが自販機で売られています。これは関係ない話です。

でもお医者さんがヘルシアみて「これ飲んだらさ、ちょっとダイエットになるから、メタボ対策になるんだよ。」と言ったらヘルシアは1本1万円で売れます。

そういう時代になっちゃった時に、その助教授に言われたのは、「(橋本)先生、PROUSION てまともな代替医療物資になるよ。データが全部ある訳だから」と。

はっきりと全て出ている訳です、データが。ここだそうです、やはり。製品に入れてデータが出ないものがかいかに多いのかということです。

そういう事も含めると、面白い話になってきたと自分でも思っております。

ご静聴ありがとうございました。

“PROUSION®” 使用製品（クリーム）による末梢血流変化

橋本政和¹⁾

NPO 法人 日本健康事業促進協会¹⁾

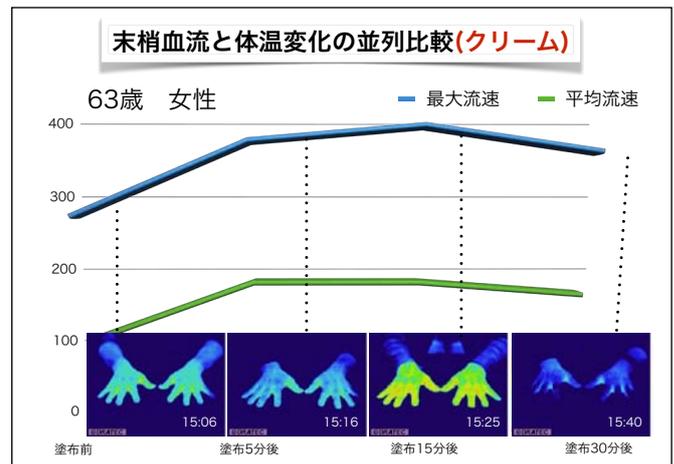
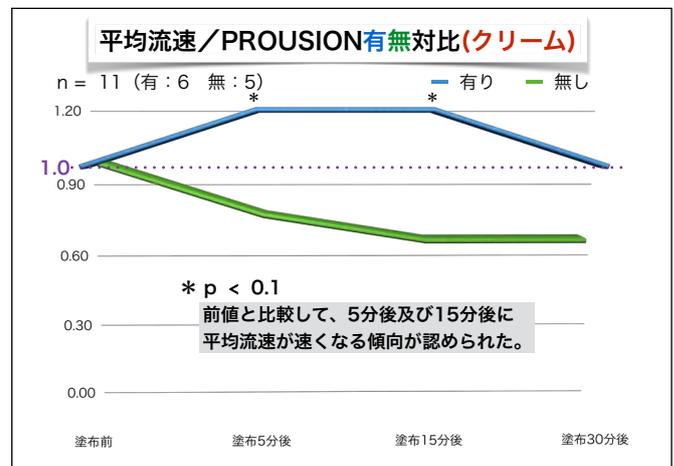
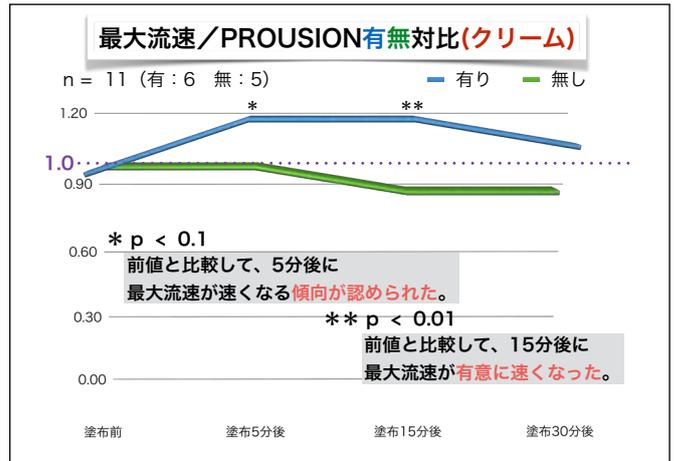
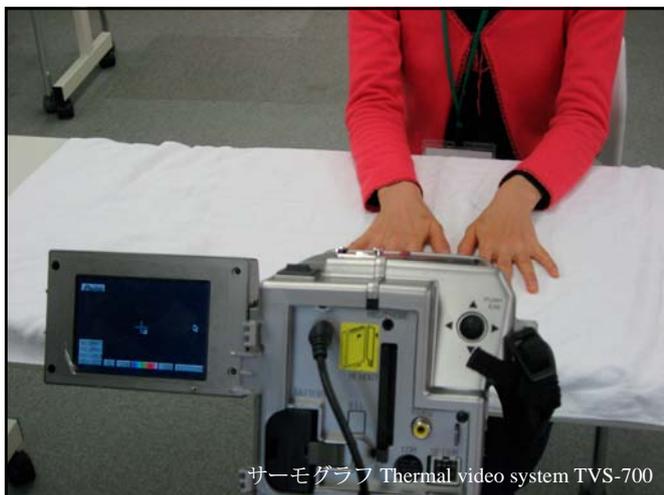
【実験状況】

PROUSION® 配合品の効力が生体に影響するかを調べた。

測定には末梢血流測定用の顕微鏡とサーモグラフィカメラを用い、PROUSION® の効果は触媒作用、共鳴作用から為されるものであると云う考えのもとに、顔に塗布し、敢えて塗布場所から離れた指先の血流に変化が起きるかを考察した。サーモグラフィカメラは（掌ではなく）両手甲を測定した。

- 被験者 11 名：血液循環に作用する医薬品、健康食品は 3 日前から服用を制限。当日は来場 6 時間前から飲食禁止。水分も 1 時間前から摂取禁止。
- 入室後 30 分安静。その後、塗布前の状態を測定。塗布以降、5 分後～15 分後～30 分後に測定。
- 配合品使用 6 例、非配合品（プラセボ）5 例。
- 測定は二重盲検法のもと、検査側が皮膚を圧迫せずマッサージにならないレベルで被験者の顔にクリームを塗布して開始。

データ解析／九州工業大学 情報工学部 機械情報工学科
山陽学園大学大学院 看護学研究科



【まとめ】

- PROUSION® 配合製品は、血流を改善することが有意に（一部は改善傾向）認められた。
- 5分後及び15分後に続けて平均流速の改善傾向を認めた。従って PROUSION® は一過性に血流速度を上げるのではなく、血流を持続的に改善させる作用もあることが示唆された。

（第2回 日本健康促進医学会 共同国際会議 2015年5月9日）